

## 2010年3月期第2四半期 決算説明会

2009年11月10日(火)

船井電機株式会社

証券コード 6839

## ・上期の概要と今後の見通しについて

1. 上期の概要
2. 下期の見通し
3. 下期および通期の計画
4. 中期目標と施策

# 1. 上期(4-9月)の概要

	前上期実績	当上期計画	当上期実績
売上高	1,446億円	1,745億円	1,670億円
営業利益	43億円 (3.0%)	55億円 (3.2%)	100億円 (6.0%)

売上高

計画を下回る (計画比95.7%)

営業利益

計画を上回る

# 1. 上期(4-9月)の概要

## テレビ事業



▶ 最優先課題である  
「テレビ事業の赤字脱却」を達成

## DVD事業



▶ 計画を上回る

## 情報機器事業



▶ 計画を上回る

## 2. 下期(10-3月)の見通し

景気は最悪期を脱しつつあるが、その回復力は脆弱で先行き不透明

### 米国の高失業率

失業率が高水準で推移 (10月10.2%、26年半ぶり高水準)  
(リーマン破綻以降: 08年10月 6.6%、12月 7.2%、09年3月 8.5%、6月 9.5%、9月 9.8%)

→ 雇用不安による消費支出の抑制が継続

個人消費の落ち込みが懸念され、市場環境は先行き厳しく予断を許さない情勢

### ドル/円為替

日・米政府の金融・経済政策次第で更なる円高リスクの可能性



年末商戦の動向を見極めた上で今後の判断としたい

## 3. 下期および通期の計画

		修正計画	
	上期実績	下期計画	通期計画
売上高	1,670億円	1,630億円	3,300億円
営業利益	100億円 (6.0%)	20億円 (1.2%)	120億円 (3.6%)

- ▶ 下期の為替想定レートの見直し(\$=¥95 ¥90)に伴い、通期売上高計画を期初の3,400億円から3,300億円に修正
- ▶ 下期の営業利益は、年末商戦の状況を見極めた上で改めて判断する必要があるため、期初計画を据え置く

### 中期(2012年3月期) 連結売上高・営業利益目標

売上高

5,000億円

営業利益

250億円 (営業利益率5%)

#### 目標達成のための施策

- 1 | 人財の育成・登用
- 2 | LCD TVの生産・販売台数 1,000万台の達成
- 3 | Blu-ray関連商品ラインナップの拡充
  - Player
  - Recorder
  - Home Theater System
  - Portable Player
- 4 | プリンターに代表されるメカトロニクス関連事業の拡大
- 5 | 新規マーケットへの参入(BRICs)・新規事業の創出

6

## 決算概要(連結)

1. 第2四半期(09年4~9月) 決算概要
2. 機器別売上高
3. 映像機器の売上高
4. DVD関連機器の売上高
5. テレビ関連機器の売上高
6. 地域別売上高
7. 第2四半期 営業利益増減要因
8. 財務の状況
9. 棚卸資産
10. 設備投資額・減価償却費・研究開発費
11. 通期(2010年3月期) 修正計画

7

# 1. 第2四半期(09年4~9月)決算概要

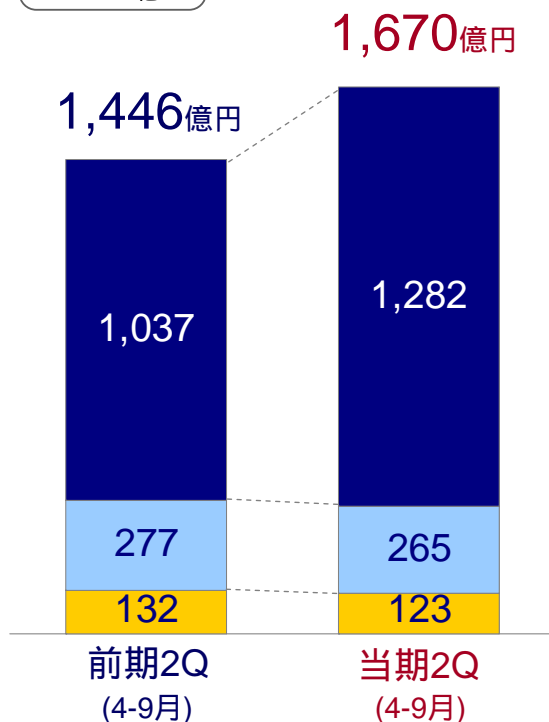
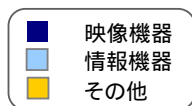
(単位: 億円)

	前期実績	期初計画 (09年5月13日)	修正計画 (09年8月10日)	当期実績	前年同期比 増減 ( )は増減率	期初計画比 増減 ( )は達成率	修正計画比 増減 ( )は達成率
売上高	1,446	1,745	1,745	1,670	+224 (+15.5%)	75 (95.7%)	75 (95.7%)
営業利益	43	41	55	100	+57	+59	+45
(営業利益率)	(3.0%)	(2.3%)	(3.2%)	(6.0%)	5 ( 1)		
経常利益	59	38	53	95	+36	+57	+42
(経常利益率)	(4.1%)	(2.2%)	(3.0%)	(5.7%)	22 ( 2)		
四半期純利益	121	30	39	73	+194	+43	+34
(四半期利益率)	( 8.4%)	(1.7%)	(2.2%)	(4.4%)			
期中平均レート (対米ドル)	106.22円	95.00円	95.00円	94.78円			

( 1) 受取利息+5、為替差損 10

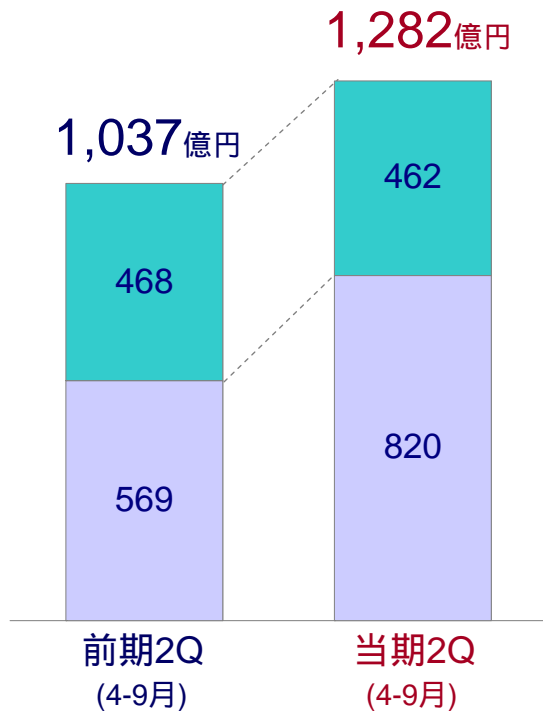
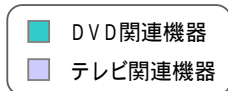
( 2) 法人税等 22

# 2. 機器別売上高



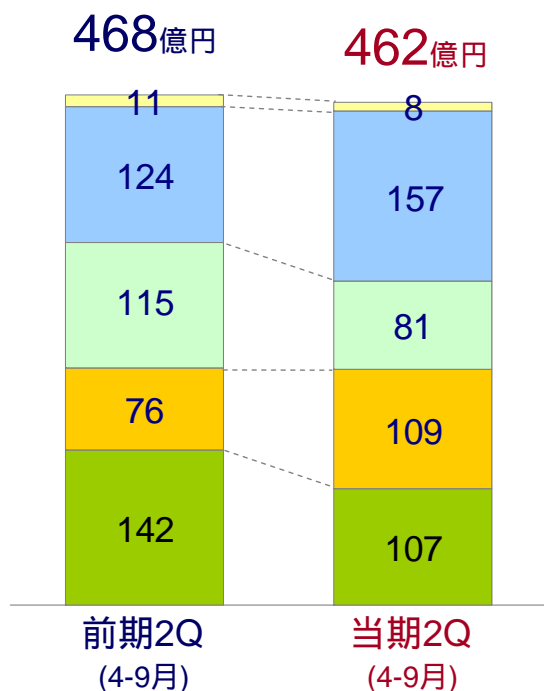
前年同期比	
映像機器	: + 245億円 (+ 23.6%)
情報機器	: 12億円 ( 4.5%)
その他	: 9億円 ( 6.3%)
<b>合計</b>	<b>: + 224億円 (+ 15.5%)</b>

### 3. 映像機器の売上高



前年同期比	
DVD関連機器	: 6億円 ( 1.3%)
テレビ関連機器	: +251億円 (+44.1%)
合計	: +245億円 (+23.6%)

### 4. DVD関連機器の売上高



#### DVDプレーヤ関連 DVDレコーダ関連

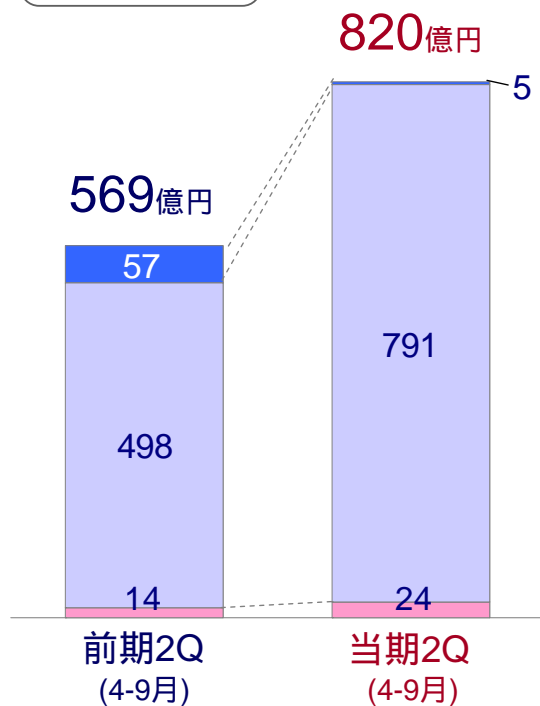
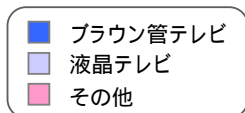
・市場が縮小期に入ったためレコーダは減少したものの、プレーヤは予想以上に伸長

**ブルーレイディスクプレーヤ** : 成長期へのステージはまだ先

**デジタルSTB他** : 6月にデジタルSTBの生産終了

前年同期比	
ビデオ	: 3億円 ( 27.3%)
DVDプレーヤ関連	: +33億円 (+26.6%)
DVDレコーダ関連	: 34億円 ( 29.6%)
ブルーレイディスクプレーヤ	: +33億円 (+43.4%)
デジタルSTB他	: 35億円 ( 24.6%)
合計	: 6億円 ( 1.3%)

## 5. テレビ関連機器の売上高



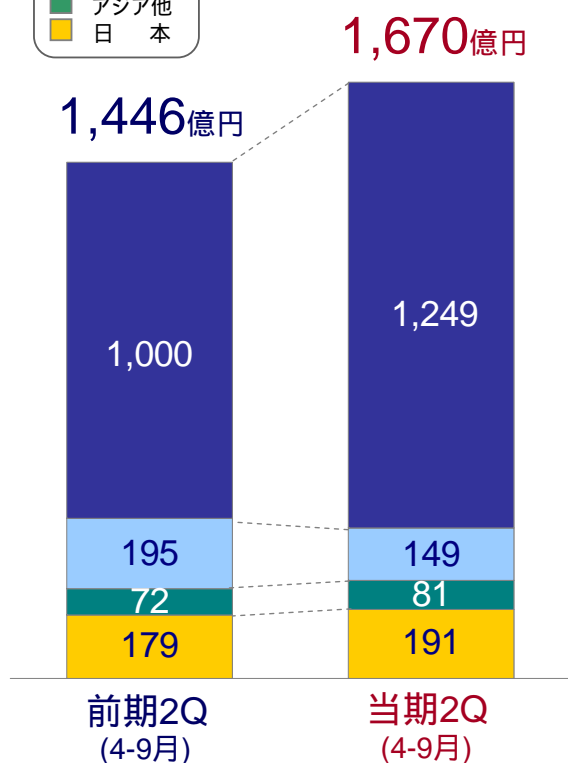
**ブラウン管テレビ** ・薄型テレビの急速な普及に伴い減少が加速

**液晶テレビ** ・フィリップスブランドの寄与により増加

### 前年同期比

<b>ブラウン管テレビ</b>	: 52億円 ( 91.2%)
<b>液晶テレビ</b>	: + 293億円 (+ 58.8%)
<b>その他</b>	: + 10億円 (+ 71.4%)
<b>合計</b>	: + 251億円 (+ 44.1%)

## 6. 地域別売上高



### 北米

・ブラウン管テレビは減少するも、Philipsブランド製品の追加により液晶テレビは大幅伸長

・ブルーレイディスクプレーヤに加えDVDプレーヤが伸長し、デジタルSTBの減少をカバー

### 欧州

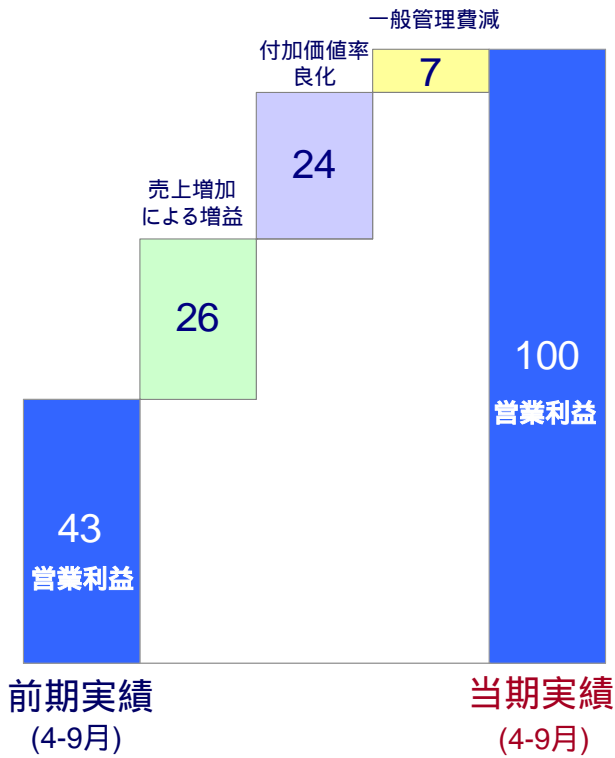
・一旦縮小均衡の下、DVD関連製品、液晶テレビ共売上減少

### 前年同期比

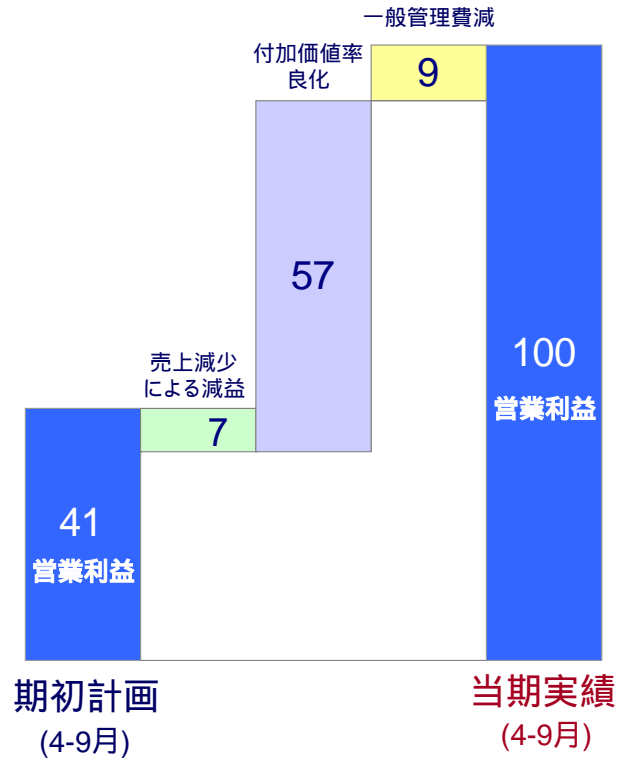
<b>北米</b>	: + 249億円 (+ 24.9%)
<b>欧州</b>	: 46億円 ( 23.3%)
<b>アジア他</b>	: + 9億円 (+ 12.5%)
<b>日本</b>	: + 12億円 (+ 6.5%)
<b>合計</b>	: + 224億円 (+ 15.5%)

# 7. 第2四半期 営業利益増減要因

《前年同期比》

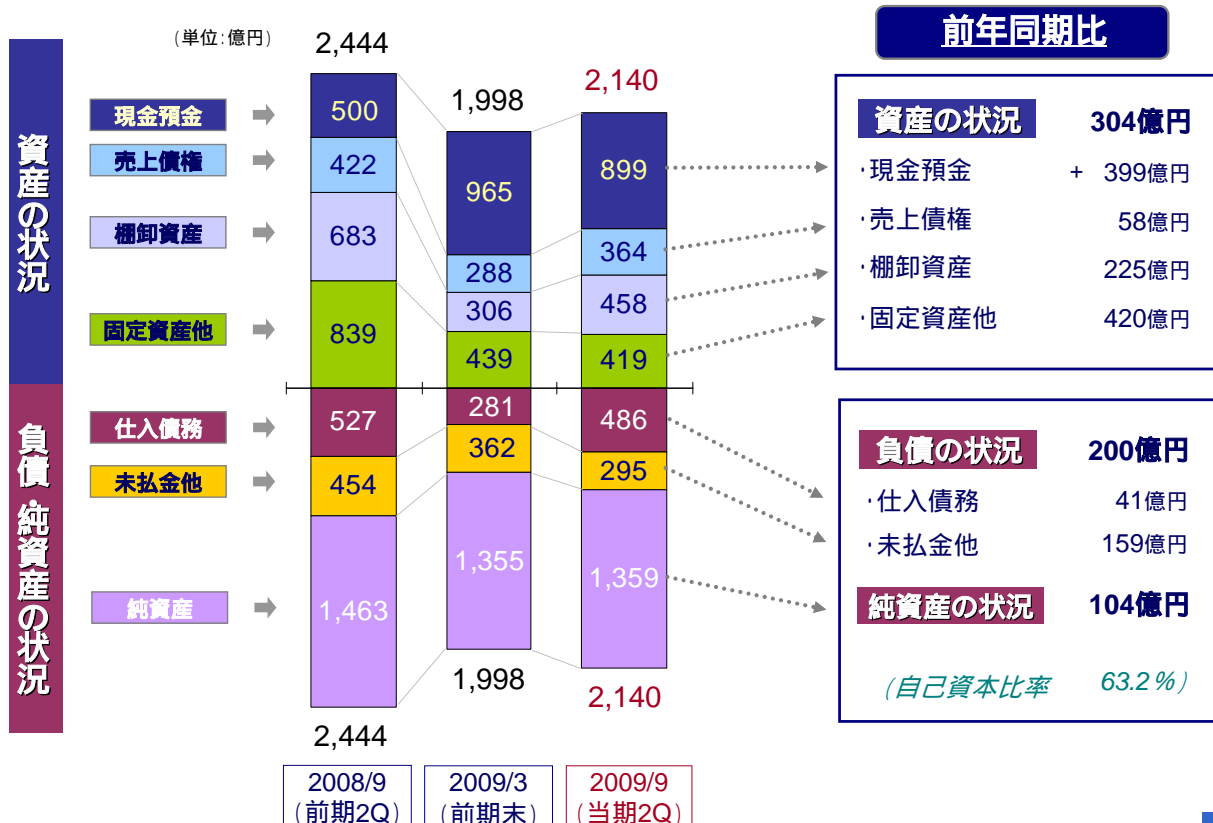


《期初計画比》



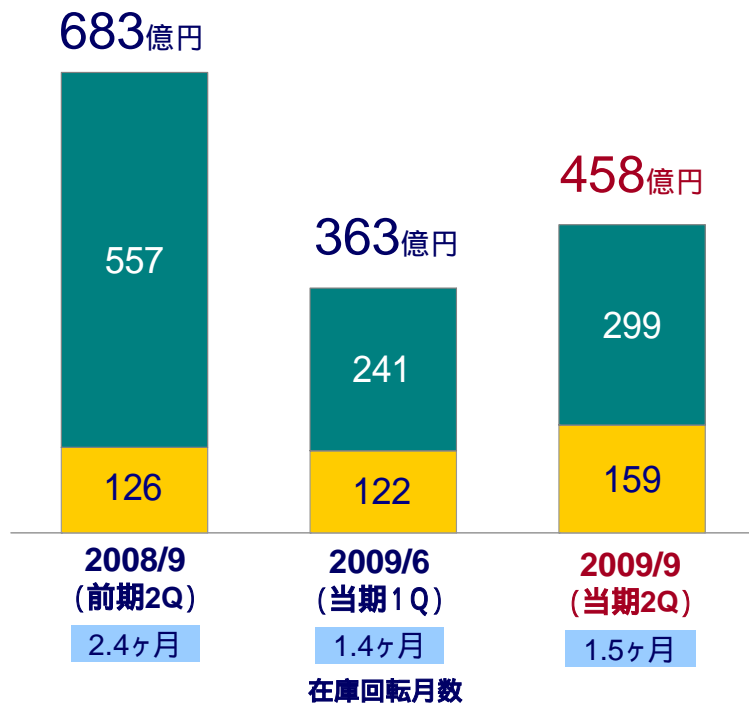
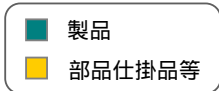
\* 付加価値 = 売上 - (売上原価 + 販売費)

# 8. 財務の状況

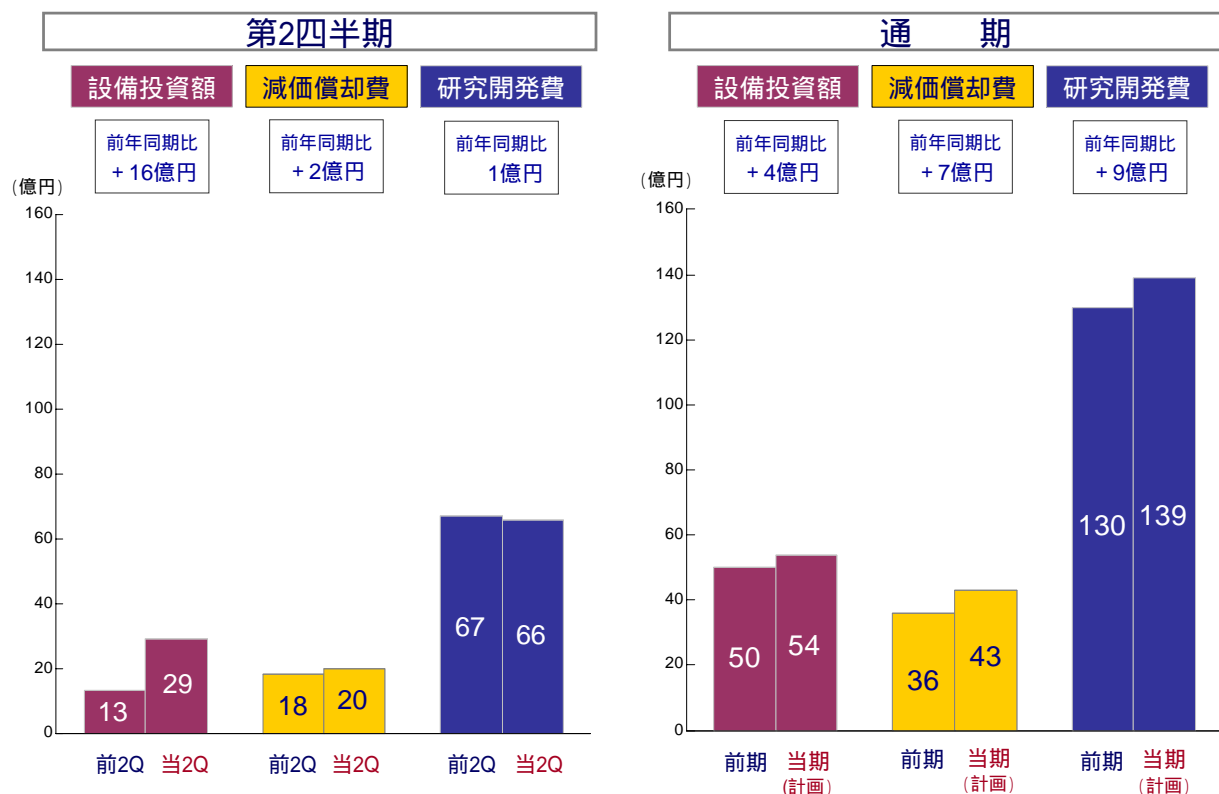




# 9. 棚卸資産



# 10. 設備投資額・減価償却費・研究開発費



# 11. 通期(2010年3月期)修正計画

(単位:億円)

	前期実績	期初計画	修正計画	前年同期比 増減 ( )は増減率	期初計画比 増減 ( )は増減率
売上高	3,027	3,400	3,300	+273 (+9.0%)	100 (-2.9%)
営業利益	14	60	120	+106	+60
営業利益率	(0.5%)	(1.8%)	(3.6%)		
経常利益	12	53	114	+102	+61
経常利益率	(0.4%)	(1.6%)	(3.5%)		
当期純利益	173	39	87	+260	+48
当期純利益率	(-5.7%)	(1.1%)	(2.6%)		
期中平均レート (対米ドル)	100. <sup>66</sup> 円	95. <sup>00</sup> 円	90. <sup>00</sup> 円		

18

## 補足資料 (第2四半期(7月~9月)決算概要)

1. 第2四半期(09年7月~9月)決算概要
2. 機器別売上高
3. 映像機器の売上高
4. DVD関連機器の売上高
5. テレビ関連機器の売上高

19

# 1. 第2四半期(09年7月～9月)決算概要

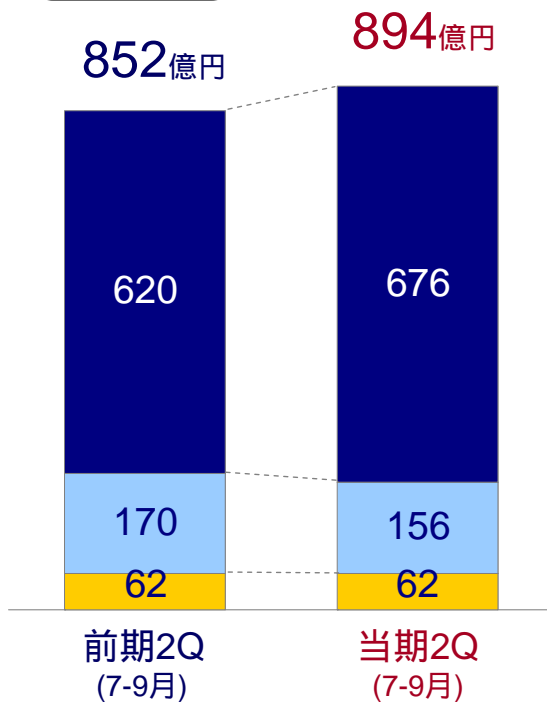
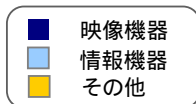
(単位: 億円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比増減 ( )は増減率
売上高	852	894	+42 (+4.9%)
営業利益	33	63	+30
営業利益率	(3.9%)	(7.1%)	8 ( 1)
経常利益	15	55	+40
経常利益率	(1.8%)	(6.2%)	14 ( 2)
四半期純利益	16	41	+25
四半期純利益率	(2.0%)	(4.6%)	
期中平均レート (対米ドル)	107. <sup>01</sup> 円	92. <sup>80</sup> 円	

( 1) 受取利息+2、為替差損 11、その他+1

( 2) 法人税等 13、その他 1

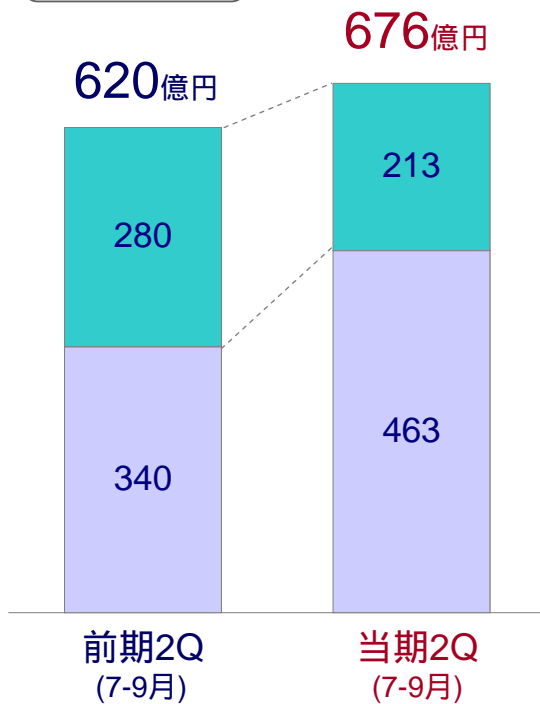
# 2. 機器別売上高



前年同期比	
映像機器	: +56億円 (+9.0%)
情報機器	: 14億円 ( 8.2%)
その他	: - 億円 ( - )
<b>合計</b>	<b>: +42億円 (+4.9%)</b>

### 3. 映像機器の売上高

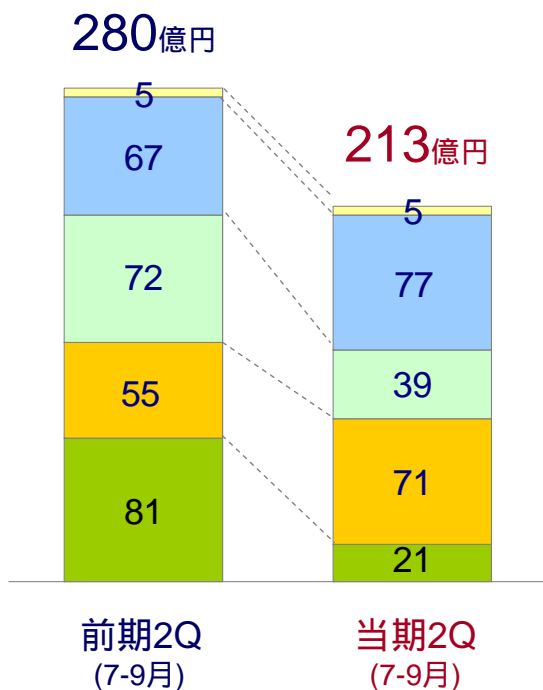
- DVD関連機器
- テレビ関連機器



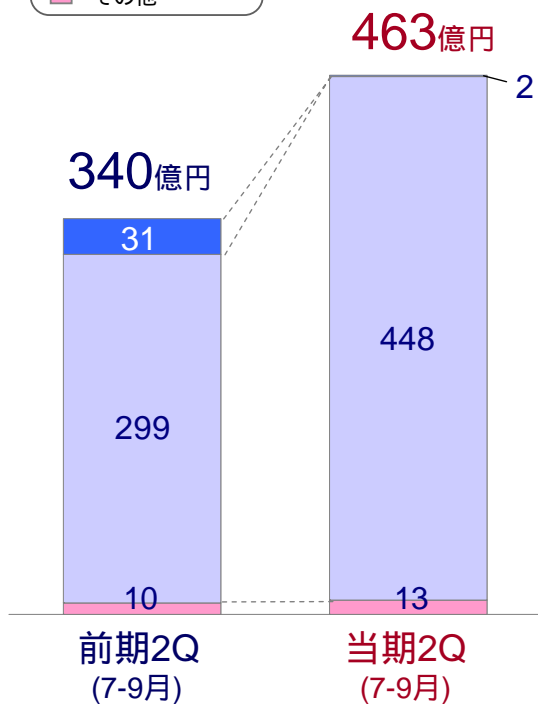
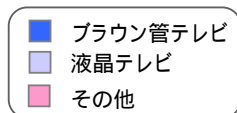
前年同期比	
DVD関連機器	: 67億円 ( 23.9%)
テレビ関連機器	: + 123億円 (+ 36.2%)
合計	: + 56億円 (+ 9.0%)

### 4. DVD関連機器の売上高

- ビデオ
- DVDプレーヤ関連
- DVDレコーダ関連
- ブルレイディスクプレーヤ
- デジタルSTB他



前年同期比	
ビデオ	: - 億円 ( - )
DVDプレーヤ関連	: + 10億円 (+ 14.9%)
DVDレコーダ関連	: 33億円 ( 45.8%)
ブルーレイディスクプレーヤ	: + 16億円 (+ 29.1%)
デジタルSTB他	: 60億円 ( 74.1%)
合計	: 67億円 ( 23.9%)



前年同期比	
ブラウン管テレビ	: 29億円 ( 93.5%)
液晶テレビ	: + 149億円 (+ 49.8%)
その他	: + 3億円 (+ 30.0%)
合計	: + 123億円 (+ 36.2%)



## . 補足資料

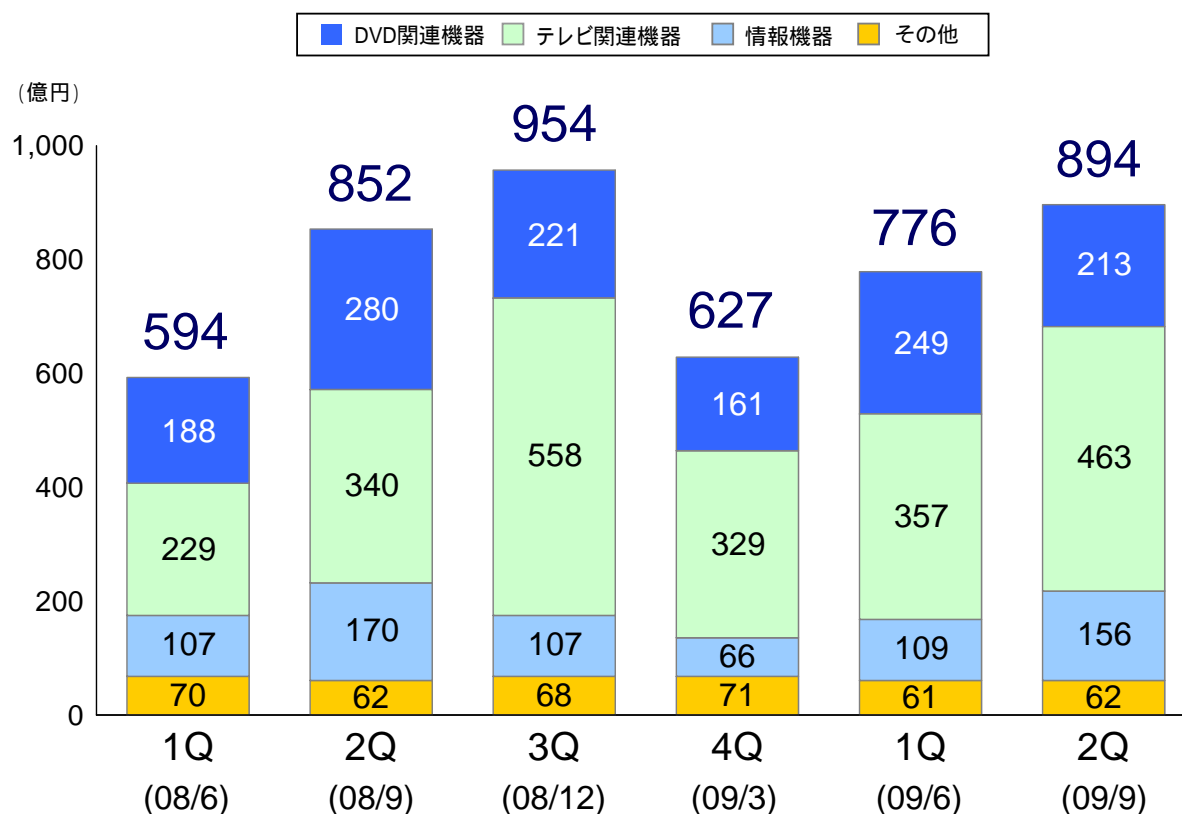
1. 四半期別決算概要
2. 機器別売上高の推移(四半期)

# 1. 四半期別決算概要

(単位: 億円)

	57期				58期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
<b>売上高</b>	594	852	954	627	776	894
<b>営業利益</b>	9	33	10	18	37	63
営業利益率	(1.7%)	(3.9%)	( 1.1%)	( 3.0%)	(4.8%)	(7.1%)
<b>経常利益</b>	44	15	35	11	40	55
経常利益率	(7.5%)	(1.8%)	( 3.8%)	( 1.9%)	(5.3%)	(6.2%)
<b>四半期純利益</b>	137	16	39	13	31	41
四半期純利益率	( 23.2%)	(2.0%)	( 4.1%)	( 2.1%)	(4.1%)	(4.6%)

# 2. 機器別売上高の推移(四半期)



本資料は、歴史的事実ではない将来の業績に関する予想及び見通しについての記載が含まれています。これらの記載は、映像機器及び情報機器をはじめとする当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界動向、国内外の経済状況並びに為替レートの変動その他の業績に影響を与える可能性のある要因について、現時点で把握可能な情報をもとにした仮定及び見通しを前提としています。したがって、実際の業績は、エレクトロニクス業界における競争状況、市場動向、為替動向、新製品の導入及びその成否、税制や諸制度に関する世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受け、本記載の予想及び見通しとは大きく異なる場合がありますのでご承知おきください。

